自分のよさを生かし、意欲的に活動できる児童の育成

ー「よいところ探しシート」を用いた話合い活動と、
目標の設定と振り返りを一体化させた「ステップアップカード」の活用を通してー

特別研修員　生徒指導・教育相談　荒平和世（小学校教諭）

【目指す児童像】　自分のよさを生かし、意欲的に活動できる児童

団活動で行進の仕方を手本として見せたり、指示を出したりする児童の様子

団活動の「ステップアップカード」綴り

一人一人のよさを生かした、団活動の担当決定のための話合いの様子

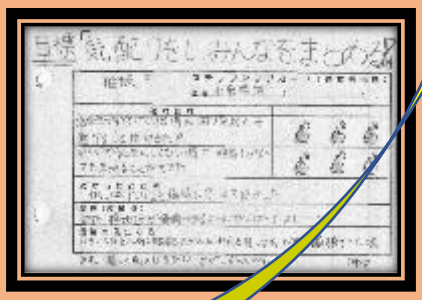
学級活動
「目指せ！フルパワー団活動」

運動会に向けた団活動の担当を決める話合いと、役割に対する行動目標の設定

実践①

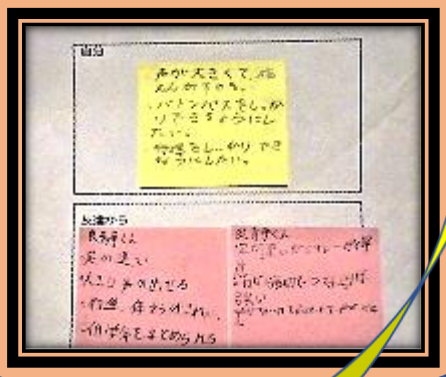
手立て２

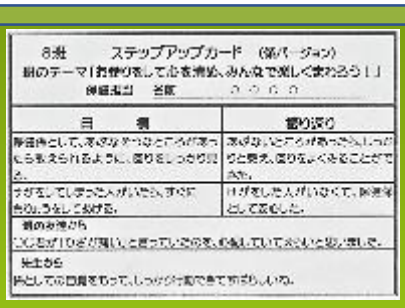
行動目標の設定と振り返りを一体化させた「ステップアップカード」の活用



手立て１

他者・自己評価を取り入れた「よいところ探しシート」を用いた話合い活動の設定





鎌倉散策後の「ステップアップカード」

目標設定の場面

話合いで活用したホワイトボード

学級活動
「思い出に残る
鎌倉散策をするために」

班行動の係と担当を決める話合いと、役割に対する行動目標の設定

実践②

【児童の実態】
自分の考えに自信がもてず、発言などが、一部の児童に偏る

【教師の願い】
一人一人のよさを生かした役割を果たし、自信をもって意欲的に活躍してほしい

成果（○）と課題（●）

○「よいところ探しシート」を用いた話合いと、「ステップアップカード」で、振り返りと目標設定を継続して行ってきたことで、自分のよさに気付けたり、努力を認めてもらえたりすることに繋がり、活動への意欲を高めることができた。

○C&S質問紙「私は、クラスのみんなの前では、大変話しにくい」の項目で、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童が30%から14%に減少したことから、自信をもって発言できる児童が増えた。

●行動目標を考える活動においては、児童が状況を想起しやすいように、情報を与えるなどの環境作りが必要である。